

被表彰団体の主な活動内容等

	団 体 名	主 な 活 動 内 容
学 校	安来市立 社日小学校 ○学級数 13学級 ○児童数 241人 ○学校図書館活用教育研究事業研究校(H26～29)	○読書記録ファイルの整備、オリエンテーションやブックトークにおける本の紹介、図書委員会を中心とした読書パズル等のイベント等、子どもたちの読書意欲を高める取組を工夫し、継続的に取り組んでいる。 ○情報活用スキル表や単元配当表を整備したり、司書教諭が図書館を活用した授業を公開したりすることを通して、児童に付けたい力や授業の進め方など教職員間で共通理解を図っている。また、情報活用能力が身に付くよう全教科で系統的に学校図書館を活用した学習指導を行っている。
	大田市立 大田小学校 ○学級数 19学級 ○児童数 489人 ○学校図書館活用教育研究事業研究校(H26～29)	○司書教諭3名を含む各学年部の教員と学校司書から成る図書館部を位置付け、学校図書館活用教育を推進している。授業においては、低・中・高学年担当の司書教諭が教科担当者及び学校司書と連携し、図書資料の準備や指導法の相談等に応じている。平成29年度は1学級あたり平均57時間学校図書館を活用した授業を行った。 ○朝読書や地域ボランティアによる読み聞かせに加え、おすすめ本の取組や味見読書、家読やペア読書など、多様な読書活動に取り組むとともに、市立図書館とも連携し、児童のニーズに応じた図書の提供を行っている。
	奥出雲町立 布勢小学校 ○学級数 8学級 ○児童数 61人 ○学校図書館活用教育研究事業研究校(H30～)	○研究主題を「本が好き！本で学び、読書の喜びを伝え合うふせっこをめざして」と設定し、読書指導体系表を基に、全学年で国語科を中心として、系統的・計画的に読解力や情報活用能力を身に付けるための授業を実施している。 ○児童によって名付けられた「ドリーム図書館」では、読書ビンゴやスタンプラリー、図書館クイズなど様々なイベントを児童委員会が毎月実施しているほか、全校一斉読書や親子・ファミリー読書、ストーリーテリング、ブックトーク、ドリームフェスティバルなど、児童が読書に親しむ様々な手立てを提供している。
図 書 館	島根県立図書館 ○設立 明治6年11月	○昭和54年から、読書普及指導員を講習会や研修会に派遣し、親子読書を中心に子どもの読書活動の普及啓発に継続して取り組んできた。 ○昭和53年から毎年1回、乳幼児から小学生を対象とした推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」を発行している。平成20年度からは実際に本を手にとることができるよう、リストに掲載された図書をセットにして貸し出す市町村巡回展示を実施し、市町村図書館での展示イベントとしても活用されている。 ○「学校図書館活用教育図書（約2000冊）」の市町村への寄託、「しまね子育て絵本（約1000冊）」の市町村への寄託、「バリアフリー図書（約2500冊）」の整備により、学校図書館や市町村図書館等への資料支援を行っている。
団 体	こぐまちゃんくらぶ ボランティア ○発足 平成16年4月 ○会員数 4名	○毎月2回、乳幼児とその保護者を対象に、わらべうた遊びや絵本の読み語り、紙芝居等の取組を実施。参加者は生後数か月の赤ちゃんから3歳までの幼児が多い中、小さなボール、ネズミやカエルなど手作り遊具を使い、楽しんでもらえるよう工夫しながら活動している。 ○雲南市立大東図書館を会場とする通常の活動に加え、地域の幼稚園等へ出張読み聞かせも実施している。こうした取組は図書館と密に連携し継続的に実施されており、地域に定着した取り組みとなっている。今では大東図書館のエリア外からも参加があり地域全体に取組が波及している。

(学級数及び児童数は平成30年5月1日現在)